＜著者設定のワードファイルからコピーペーストすると，ひな形の設定が消えることがあるのでご注意ください．原稿提出の際，印刷に不要な＜文字＞は確認後に上書きして消去してください＞

保全生態学研究 (Japanese Journal of Conservation Ecology)

J-STAGE Advance published date: ●●, 2023

https://doi.org/10.18960/hozen.●原稿番号●

＜表題＞

＜英語表題＞

＜簡略表題（ランニングタイトル）20字以内＞

＜著者名＞

＜Authors＞

＜所属＞

＜Affiliations＞

要旨：＜1000字以内＞

キーワード：＜内容を適切に表す語句5つ以内，表題に含まれない単語＞

# Abstract：＜500語以内＞

Keywords：＜内容を適切に表す語句5つ以内，表題に含まれない単語＞

連絡著者：

住所：〒

Address：＜郵便番号を含める．都市名を明記し県・区等は略でOK

例 1-8 Koyama-nishihanaike, Kyoto 603-8148, Japan＞

Phone: ＜メイルで連絡が取れない場合に，連絡著者に直接連絡が取れるもの．原稿には掲載しません＞

e-mail:

20●年●月●日受付、20●年●月●日受理、20●年●月●日早期公開（J-STAGE）

著作権は著者に帰属する. Licensed under CC BY 4.0

はじめに

導入の文章

方　法

**中見出し**

図1

１）小見出し

表1

図2

表2

方法に関する文章

（図表のおおよその掲載希望位置を欄外にテキストボクスで表示）

結　果

結果に関する文章

考　察

考察に関する文章

謝　辞

謝辞に関する文章

著者情報＜必要な方のみ＞

ORCID iD

著者の英語氏名　https://orcid.org/著者のORCID iD

引用文献

Green JL, Plotkin JB (2007) A statistical theory for sampling species abundances. Ecology Letters, 10:1037-1045. https://doi.org/10.1111/j.1461-0248.2007.01101.x

岡崎 純子, 板本 瑶子 (2009) 大阪教育大学柏原キャンパスの植物相とその変化. 大阪教育大学紀要　III, 58:15-35

Yamada T, Ngakan OP, Suzuki E (2005a) Differences in growth trajectory and strategy of two sympatric congeneric species in an Indonesian flood-plain forest. American Journal of Botany, 92:45-52. https://doi.org/10.3732/ajb.92.1.45

Yamada T, Suzuki E, Yamakura T, Tan S (2005b) Tap-root depth of tropical seedlings in relation to species-specific edaphic preferences. Journal of Tropical Ecology, 21:155-160. https://doi.org/10.1017/S0266467404002238

デクルーン H, フィッサー EJW (編) (2008) 根の生態学 (森田 茂紀, 田島 亮介訳). シュプリンガー・ジャパン, 東京

環境省自然環境局生物多様性センター (2004) 第6回自然環境保全基礎調査　生物多様性調査　鳥類繁殖分布調査報告書. 生物多様性センター, 富士吉田

Roger C, Calvin D, Richard L (2008) Dispersal in Plants. Oxford University Press, Oxford

山田 剛史, 杉澤 武俊, 村井 潤一郎 (2008) Rによるやさしい統計学. オーム社, 東京

鷲谷 いづみ, 村上 興正 (2002) 日本における外来種問題.（日本生態学会 編）外来種ハンドブック, 6-8. 地人書館, 東京

Maun MA (2004) Burial of plants as selective force in sand dunes. In: Martinez ML, Psuty NP (eds), Coastal Dunes Ecology and Conservation, 119-135. Springer, Berlin

生物多様性JAPAN (2013) IUCN 減災（災害リスク軽減）のための環境の手引き. http://www.bdnj.org/pdf/140509.pdf, 2014年12月25日確認

Society for Ecological Restoration (2004) SER International Primer on Ecological Restoration, version 2. http://www.ser.org/resources/resources-detail-view/ser-international-primer-on-ecological-restoration, 2015年2月15日確認

大串隆之 (2005) 生物多様性の総合理論. 日本生態学会誌 (印刷中)

大串隆之 (印刷中) 生物多様性の総合理論. 日本生態学会誌

Takatsuki S (2023) Photographs of the fruits and seeds of the four target trees. Grid aperture: 5 mm. J-Stage Data. https://doi.org/10.57345/data.hozen.●＜投稿時はDOI未定，受理後に著者自身でデータをアップロード，最終原稿提出時にURLを反映．本文中にも文献として引用する＞

付 録

＜必要な方のみ＞＜J-Stage Dataに掲載する場合はこの項目は削除＞

付録１　表1．表のタイトル。

表の説明文。

付録１　図1．図のタイトル。

図の説明文。

付録２．　プログラムや動画ファイル、大規模なデータなどの資料名称。

資料の説明文。

https://自分のサイトやリポジトリサイトなど（アドレスがすでに決まっている場合）

表１．＜表の説明＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 調査地 | 変数1 | 変数2 | 変数3 |
| 調査地１ |  |  |  |
| 調査地２ |  |  |  |

表2．＜表の説明＞

＜表組＞

（冊子カラー印刷希望）

＜希望しない場合は削除・未記入↑でモノクロ印刷＞

＜図ファイル貼り付け　jpg、png、gifのみ利用可．組図の記号はa,b,cに統一

不可：tiff．メタファイル、Power point; Word上で画像とテキストを組み合わせた図、Officeグラフィックスオブジェクトなど＞

図１．＜図タイトル　本文を参照しなくても内容がわかる説明文．

※図の作画者や写真の撮影者が著者と異なるときは、説明中にそのことを明記し、また必要な場合は著者においてあらかじめ著作権者の許可を受ける＞

＜図ファイル貼り付け　jpg、png、gifのみ＞

図２．＜図タイトル　本文を参照しなくても内容がわかる説明文

＞